

## あきらくんのおばあさんの話



このたて物は、「蔵」と言うんだよ。今から110年以上も前の明治10年ごろにたてられたそうだよ。あつい夏の日もさむい冬の日も、蔵の中はいつでも同じ温度なので、ものをしまっておいたり仕事をしたりするのにとてもいいんだ。それに、火事にも強いんだよ。こういうたて物が喜多方のあちこちにあるんだよ。

今では「蔵のまち」として有名になってるよ。



みんなは、このたて物から、昔の市の様子や人びとのくらしがわかることに気づきました。

そこで、昔のことがわかる古いものが、他にもないか、さがしてみることにしました。



家の近くにありました。おばあちゃんは、「ごがはまだよ。」と教えてくれました。



地区のはずれに田中神社があります。年に一度おまつりがあります。

カードを集めて古いものマップでもつくったらどうかしら。



みの回りにある古いものから、昔のくらしを調べてみましょう。